

Cisco Firepower 9000の永続的なクロスサイトスク립ティングの脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20151117-firepower2	CVE-2015-6372
m	初公開日 : 2015-11-17 00:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 4.3	
	回避策 : No workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCux10614	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Firepower 9000デバイスのHTTP Webベース管理インターフェイスの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が該当システムのユーザに対してクロスサイトスク립ティング(XSS)攻撃を実行する可能性があります。

この脆弱性は、ユーザが指定した値の入力検証が不十分であることに起因します。攻撃者は、特定のリンクをクリックするようにユーザを誘導することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。

シスコでは、本脆弱性に対処するソフトウェア アップデートをリリースしていません。この脆弱性を軽減する回避策はありません。

このアドバイザーは次のリンクで確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20151117-firepower2>

該当製品

脆弱性のある製品

Cisco Firepower 9000シリーズスイッチリリース1.1(1.160)には脆弱性が存在します。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザーの影響を受けるものは現在確認されていません。

回避策

この脆弱性を軽減する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアのアップグレードを検討する場合は、<http://www.cisco.com/go/psirt> の [Cisco Security Advisories and Responses アーカイブ](#) や [後続のアドバイザリを参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレードソリューションを確認してください。](#)

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20151117-firepower2>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	-	Final	2015年11月17日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。